

I 国語科学習指導案

平成 29 年 9 月 15 日(金)

1. 単元名 『もうどう犬の訓練』

2. 単元目標

・「はたらく犬」について関心をもち、進んでいろいろな本や文章を読もうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、大事な言葉を落とさずに要約することができる。 【読むこと】

・「はたらく犬」リーフレットを作って紹介するために、はたらく犬について書かれた本や文章を選んで読むことができる。 【読むこと】

・文と文とのつながりを考え、指示語や接続語を正しくとらえることができる。

【言語に関する知識・理解・技能】

3. 本時の学習（第3次 9時間目）

(1)本時の目標 グループでの話し合いを通して、必要な情報を選択し要約することができる。 【書くこと】

(2)本時の学習展開

時間	主な学習活動と予想される児童の反応	教師の支援 (○) と評価 (☆)
2分	1. 前時を振り返り、本時の課題を把握する。	○前時までの時間で、調べた情報カードの大事な言葉(キーワード)に赤線を引いたことを確認する。
	はたらく犬についてグループで話し合い、要約しよう。	
5分	2. 話し合いをするために、大事な言葉(キーワード)を付箋に書き出す。	○課題を示し、本時では情報カードの中にある大事な言葉(キーワード)を出し合い、要約するという見通しをもてるようにする。
10分 ～	3. 大事な言葉(キーワード)をグループで出し合い、確認し合う。	○大事な言葉(キーワード)については、どんな言葉が出るかあらかじめ見当をつけておく。
15分	・他の人が選んだのと同じ言葉が大事だと思ったよ。 ・皆とは違うけど、自分はこの言葉も大事だと思うな。 ・どこに書いてあったの？ ・何の本に書いてあったか、もう一度読んで探してみよう。	○「～犬ってどんな犬?」「どんな訓練をするの?」の2つについて、話し合いをするようにする。 ○大事な言葉(キーワード)を整理しやすいように、付箋が貼れるシートを用意しておく。 ○大事な言葉(キーワード)が出にくいグループには、アドバイスカードを示すようにする。 ○使用した図書資料を用意して、読み直すことができるようにしておく。
15分 ～	4. 確認し合った大事な言葉(キーワード)を取り入れて、文章化する。	○〈要約のポイント〉を示して、まとめ方を確認できるようにする。

20分	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人が選んでいた言葉を取り入れて書こう。 ・皆は選ばなかったけど、自分はこの言葉も大事だと思うから、取り入れて書きたいな。 ・メモをもとに文章にしてみよう。 ・問いの答えもきちんと書こう。 ・言葉の続き方はおかしくないかな。 	<p>〈要約のポイント〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉（キーワード） ・問いと答え ・言葉の続き方 </div> <p>○大事な言葉（キーワード）は、自分で考えて取り入れるようにする。</p> <p>○支援が必要な児童には、確認したこと参考にして、大事な言葉（キーワード）や問いの答えを落とさないように声掛けしながら一緒に要約をする。</p> <p>☆評価の観点【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いを通して、必要な情報を選択し要約することができる。 <p>（話し合いの様子、要約シート、情報カード）</p>
5分	5. 文章化したものをグループ内で発表し合う。	○要約のポイントがおさえられているかを確認できるようにする。
3分	6. 本時の振り返りをする。 ・振り返りカードに記入をする。	○振り返りの観点 ・話し合いを通して、文章がよりわかりやすくなったか。

(3) 本時の評価規準と支援

十分満足できると判断できる児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
グループでの話し合いを通して、必要な情報を選択し、よりわかりやすい文章に要約することができる。	グループでの話し合いを通して、必要な情報を選択し、要約することができる。	グループでの話し合いを通して、必要な情報を選択し要約することができない。⇒大事な言葉や問いの答えを落とさないように声掛けしながら一緒に要約をする。

(4) 研究の視点

・同じ「はたらく犬」を選んだグループでの情報カードの話し合いは、大事な言葉を落とさずに要約するために有効であったか。